

大妻同窓会福島だより



ごあいさつ

大妻同窓会福島代表 武藤みや子

「大妻同窓会福島」の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年度の総会も、お忙しいところ遠路ご出席頂きましてありがとうございました。今回は、総会の後「会津料理と昔語り」を計画いたしました。会津の方言のやさしい言葉に参加された皆様も「ほっこり」とされたようでした。

会津若松市は福島県の西部に位置しております。そのため、太平洋に面した浜通りにお住まいの方は勿論、県南地方にお住まいの方にもご不便をおかけしております。来年度は、大妻同窓会福島が誕生して10年という節目の年を迎えます。そこで、総会を県の中央に位置します郡山市で開催する予定にしております。多くの会員の皆様のご出席を

お待ちしております。

ところで、今年度も大学の「地域連携プロジェクト」に協力させて頂きました。今回は、大熊町の小学生と水谷ゼミの皆さんがポロシャツのデザインを考え、それを製品化されました。白地で全体に青色の細いストライプが入り、胸ポケットには大熊町の「熊」と会津若松市の「赤べこ」がデザインされております。9月に開催されました熊町小学校と大野小学校の運動会当日、学生から小学校の児童代表に贈呈されました。

大妻同窓会福島も10年という節目の年を迎えます。会員同士の親睦を大切にしながら活動を続けて行きたいと思います。

学生時代の思い出

昨年度に引き続き、4人の皆様に大妻で過ごしたそれぞれの貴重な思い出を振り返っていただきました。

昭和34年短大卒 近藤作多子

「大妻は良妻賢母の教育で有名だからお嫁に行くも家庭科の教員になるにしてもいいぞ。」と高校の担任に勧められ入学を決めました。

元来和裁洋裁は好きでしたので作品に花まるが戴けるのが楽しみでした。体育の授業で後樂園スケートリンクに早朝都電に乗って通い、滑れるようになった時の嬉しさは一入でした。加賀町での寮生活は一室4名で、上級生を「お姉様」とお呼びし立居ふるまいから正して戴きました。浜離宮や高尾山へ連れて行って戴いた事も良い思い出になりました。

大学の近くの宮内庁分館に、美智子皇后がご成婚前にお妃教育を受けられる為にお出になられるのを待ち伏せて間近で拝見し感激した事も忘れられない出来事でした。

私の人生が少しでも豊かだったとすれば大妻で学ぶ多くの友を得、教職に就けたからと感謝しております。現在の大妻が大きく躍進され時宜を得た地域貢献等をなされていることを知るにつけ誇りに思っております。

昭和50年大学卒 郡司美恵子

我が家の書棚に「和服裁縫」前・後編 岩松マス著が凜としてたたずんでいる。久しぶりに手にしてみると、周りが微かにやけてはいるが、写真・図解・説明文が、実に鮮明に記されていて、今でも違和感のない教科書に胸が熱くなりました。

大妻女子大学に入学が決まったことを誰よりも喜んでくれた母は、日常生活で和服を着用し若い頃に手習いで習得した裁縫をしていました。和服に興味のあった母は、和服裁縫の手引きとして、本を欲しがっていたので購入して送ったことを思い出します。喜んでくれた母もそれから4年後に他界し、今では、唯一の親孝行だったように思えてなりません。

和服を愛するもののひとりとして、いつの時代も変わらない物の大切さが受け継がれていって欲しいと心から望んでいます。

昭和56年短大卒 三浦 節子

私は1年間は加賀寮で、残りの1年はどうしても一人暮らしを体験したくて、女性専用の下宿で学生生活を送りました。電車通学、銭湯通い、自炊、コインランドリーなど、すべてが初めてで新鮮であり、親の有難さを感じる1年でした。

サークルはアイデア研究会に所属し、他の大学の同じサークルの学生とも交流があり、楽しい学生生活を送る事ができました。

また空いている時間に、バイトをし、お金の有難さを学びました。私にとって大妻の2年間は、今でも大切な良き思い出です。

平成11年大学卒 今泉 友香

この度、久しぶりに大学時代のことを思い起こす機会を頂き、時間をかけて20年前のことを振り返ってみました。ゼミに在籍中は毎日実験に明け暮れていたこと、就職活動が思いのほか楽しくて様々な業種の会社見学に行ったこと、生活費が足りなくなってキャベツやもやしでしばらく生活したことなど、たくさんのことを思い出し、自然と笑みがこぼれました。中でも、友達と過ごした時間は、私にとってかけがえのない思い出です。長期休暇には避暑地へ旅行に行ったり、イベントがあれば私の家でパーティーをしたり、試験の後においしいランチを食べに行ったりと、楽しいことがたくさんありました。そんな特別な日の思い出も大切なのですが、学校で空き時間やお昼休みにお茶を飲みながら友達と過ごした何気ない日々を思い出すと、心が温かくなります。大妻で得た最大の財産は、良き友人と出会えたこと、そしてそのことが私にとって学生時代の1番の思い出です。

平成28年度 総会を終えて

昭和53年大学卒 小松 宏子

平成28年10月30日(日)、大妻同窓会福島の総会が会津若松市「割烹 田季野」に於いて、大妻コタカ記念会から井上小百合会長をお迎えし開催されました。会員出席は10名と少人数ではありましたが、武藤みや子代表のもと、総会は滞りなく終了いたしました。

その後引き続き、公演、懇親会となりました。会津の民話「会津こと葉の会」の語り部お二人により、『話千両』と『ワラ三束と塩一升の運』の民話が語られました。時折言葉の解説もあり、会津の方言の温かさを感じながら聞き入りました。

懇親会では、会津地方ならではの郷土料理を頂きながら、会員お一人お一人の近況報告など、和やかな時間を持つことができました。

今回は、3年振りに参加させて頂きましたが年代を越えても、母校への思い、学生時代の思い出、エピソードなど思いを同じに、時が学生時代に戻り楽しいひと時を過ごすことができ、時間の経つのも忘れてしまうようでした。

井上会長から現在の大妻の現状をお聞きしたり、会員の方々のご活躍などお聞きしますと、「また元気に頑張りたい」と思うことができました。

今回は、設立十周年の記念総会となります。会員の皆さま、是非、お一人でも多くの方に参加頂けますように切に願っております。

十周年にお会いできますことを楽しみにしております。



「地域連携プロジェクト」について

平成26年度から始まった大妻女子大学の「地域連携プロジェクト」の一環の「被災地きずなプロジェクト」も3年目を迎えました。前回は震災により大熊町から会津若松市に避難している大野小学校と熊町小学校に機能性Tシャツを贈りました。

今年度は平成28年2月にプロジェクトを推進している水谷准教授の研究室の学生達が両校を訪れ、生徒達と一緒に色やデザインを考案し、約130枚のポロシャツを作製しました。

贈呈式は9月17日の大熊町の幼稚園、小中学校合同の運動会の中で行われ、東京から来た4人の学生達と同窓会福島から武藤、大竹、渡部の3人が参加しました。

贈られたポロシャツは白地にブルーのストライプ、胸には大きなワッペンがついていて、当日の青空にも映え、さわやかで、早速それを着て、来賓の大熊町長や教職員、保護者達に披露してくれました。

学生達も笑顔で大熊盆踊りや競技を見学し、地域や生徒達に親しみを感じ、更に絆が深まったようでした。

同窓会福島としてもこの絆が続くことを願いつつ、橋渡し役として、今後も活動を応援していきたいと思います。

(渡部 幸子)



大妻同窓会福島役員 (平成28年度)

代 表	武 藤	みや子
副 代 表	渡 部	幸 子
副 代 表	大 竹	美登里
会 計	越 尾	茂 子
会 計	三 浦	節 子
監 査	阿 部	晶 子
監 査	小 松	宏 子
相 談 役	佐 藤	瑞 穂
相 談 役	岸 本	有 代

大妻同窓会平成28年度のあゆみ

同窓会総会・懇親会

平成28年10月30日(日) 割烹・会津料理 田季野
役員会

随時(6回開催)

会報編集会議

平成28年12月6日 平成29年3月6日

会報発行

平成29年3月31日

行 事

大妻女子大学「地域連携プロジェクト」ポロシャツ贈呈協力

平成28年9月17日(土)

大熊町立大野小学校・熊町小学校

平成29年度の計画

10月22日(日) 平成29年度総会・懇親会

郡山ビューホテルアネックス

随 時 役員会

平成30年

3月31日 会報第10号発行

<ご 寄 付>

切手、総会時にお菓子をいただきました。
ありがとうございました。

大妻同窓会福島 会費納入のお願い

◎ 年 会 費 1,500円

入会を希望される方、お忘れの方は下記にお振り込みくださいますようお願いいたします。

加入者名：大妻同窓会福島

口座記号番号：

編 集 後 記

支部だより9号の発行にこぎつけました。玉稿をお寄せいただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

平成29年度は創立10周年を迎えます。総会には、多くの皆様方のご出席をお待ちいたしております。
(大竹美登里)

編集発行人	大妻同窓会福島会報
発 行 所	武藤みや子
発 行 日	大妻同窓会福島
印 刷 所	平成29年3月31日
	有限会社 わかさ印刷
	(会津若松市町北町上荒久田字崖下16-2)